

東 一 中 だ よ り

文京区立第一中学校
校長 山内 卓司

【教育目標】○進んで学習し、よく考える人 ○責任を重んじ、思いやりのある人 ○心身ともに健康でねばり強い人

「出会い」と「巡り合わせ」

4月より第一中学校の校長となりました、山内 卓司です。

先日、86名の新入生を迎え、晴れ渡る青空に祝福され入学式が行われました。あらためまして、新入生と保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。そして、2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。令和7年度は全校生徒232名でのスタートとなります。

入学式では新入生へお祝いの言葉として、『出会い』をテーマに話をし、『出会い』は自分自身を成長させ、人生を楽しくする最大のチャンスだと伝えました。このような話をした私自身が人生の中でどんな出会いをしてきたかを、少しお話ししたいと思います。

最大の『出会い』は中学校時代でした。中学1年生の時の担任であり、バスケットボール部の顧問でもあった保健体育の先生との『出会い』です。その先生は大学を卒業したばかりだったので、13歳の私とは10歳の年の差しかありませんでした。先生というよりはお兄さんのような感覚で、「若造先生の言うことなんか聞けるか」と何かにつけて反抗していました。しかし、そんな私をいつも気にかけて、粘り強く声をかけてくださいました。バスケットボール部ではかなり厳しくもありましたが、愛情をもって熱心に教えてくださいました。その厳しさと優しさの中で過ごした3年間が私の人生の礎となっています。中学卒業後も悩んだときには相談に乗ってもらい、何年経っても心の支えていてくれました。そのような関わりの中、いつの間にか恩師のようになりたいと中学校の教師を志し、43年たった今、この場にいます。

実は恩師も私と同じように、教師を目指すことを決意する『出会い』を中学校時代に経験しています。お二人が出会った思い出の場所は、なんとここ文京一中です。恩師は文京一中で過ごした3年間があったからこそ教師となり、私と出会いました。その私が今、文京一中の校長としてこの場所に立っています。この『巡り合わせ』は、あらためて人生というのは運命的に繋がっていることを実感させられます。

お二人は今、天国にいます。天国から「新米校長、一中学生のためにしっかりやれ」「いい加減なことをしたら許さないぞ」と激励の声が聞こえてきます。

この大切な『出会い』が導いてくれた『巡り合わせ』を意気に感じ、正しさと優しさ、自分への厳しさの上に校長としてスタートを切り、努力していきます。また、教職員が半数近く入れ替わりましたので、コミュニケーションを第一に考え、「チーム学校」として一丸なり、生徒や保護者・地域から信頼される教職員集団を作って参ります。

今年度も第一中学校をどうぞよろしくお願ひします。

